

オートインジェクタのガスクロマトグラフへの取り付け

ガスクロマトグラフへの取り付け

ガスクロマトグラフの機種にかかわらず、オートインジェクタのガスクロマトグラフへの取り付け方法は基本的にすべて同じです。

この図では、GC-2010 を例にとり説明します。

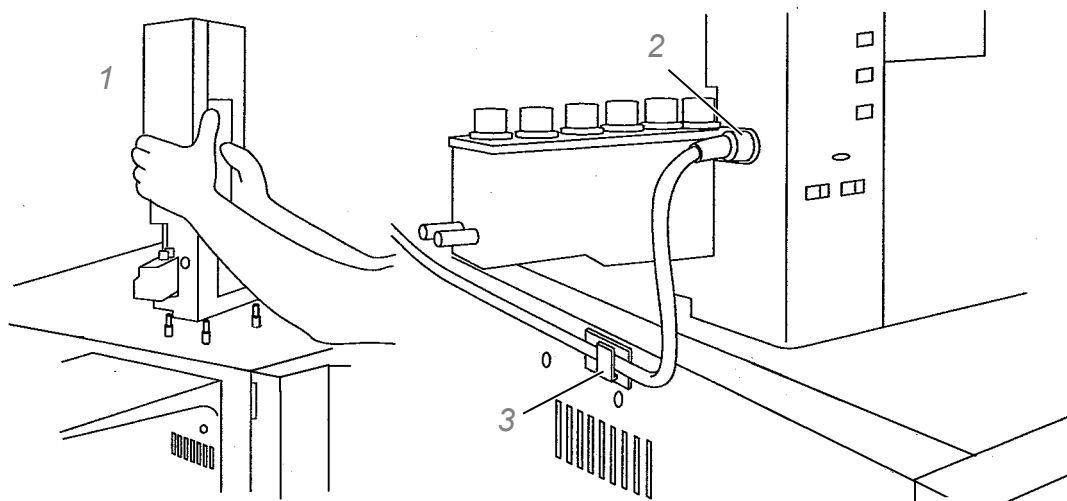
- 1** ガスクロマトグラフに取り付けられている取り付けピンにオートインジェクタを上からはめます。ピンは4カ所あります。注入口フィンにオートインジェクタがはまり、ガタつきのない所までしっかりはめ込んでください。

この後、AOC と GC を接続する AOC コードが外れている場合は接続します。

⚠ 注意

- AOC コードの取り付け、取り外しは、必ず AOC 電源が OFF の状態で行ってください。
AOC 電源が ON の状態でコードの取り付け、取り外しを行った場合、誤動作や故障の原因となります。

- 1 上からしっかり、ガタつきのない所まではめ込みます。
- 2 AOC コード... 矢印の位置を合わせて取り付け、取り外しをしてください。
- 3 AOC コードは、ターレット動作の妨げにならないよう付属のフックで固定してください。



📌 注記

取り付け方が不十分な場合には、電源を投入すると“-11”のエラーがディスプレイに表示されます。このときは取り付け状態を確認して、もう一度しっかり押し込んで取り付けてください。

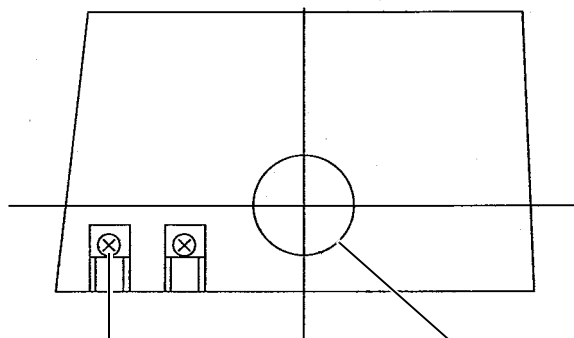
📌 注記

AOC コードを接続したままでもオートインジェクタの取り付け／取り外しが可能です。オートインジェクタ本体を遠くへ移動する際など AOC コードがとどかない所へおく場合には AOC コードを取り外してください。

またオートインジェクタを取り外したい場合は、オートインジェクタ本体をまっすぐ引き上げれば外せます。

 注記

GC-2014、GC-14A/B で使用される場合は、[下図](#)に示す GC-2010 などの他のガスクロマトグラフで必要な板バネ、ネジ、スペーサが取り外されています。オートインジェクタを GC-2010 などを使用する場合、必要になりますので大切に保管してください。



この板バネ、ネジ、スペーサが
取り外されている（GC-2010、
GC-17A などの使用時に必要）。

注入口フィンが入る穴部

オートインジェクタの底面図